市町村名	うるま市

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	産業振興計画	事業				沖縄21 基本計	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(9)-ア ものづくり産業の戦略的展開		
担当部課名	経済産業部	産業	政策課	事業実施 年度	令和 3	~ ^{令和} 年 3	度 沖縄振 該	興基本方針 当箇所	基本方針 指箇所		
事業内容	本事業は、平成29年3月に策定したうる 度から令和8年度までの5年間を計画期 策の方向性を定める。			るま市産業 月間とした第	振興計画 52次うるま	(以下「現計画 市産業振興計	」という。)に ·画(以下「 新	おける施策な 所計画」という	さその効 。)を策り	ı果を検証 定し、今後	Eし、令和4年 その産業振興
実施方法	□ 直接実施		委託 □ 補即	л [〕負担	ロそ	の他()				
			R3年度								슴計
	A. 予算現額 15,53		2							15,532	
事業期間中	B. 執行済額		15,53	2							15,532
の予算額 ・執行額 【単位:千円】	うち 交付金充当客	Ą	12,42	5							12,425
【辛匹.十门】	執行率(%)(B//	A)	100.09	%							100.0%
	執行状況の説明	1	当初の計画どおり事	事業を適正に執行することができた。							
			(le le)		達成状況						
	古 <u>男</u>]日標	(指標)			R3年度					
事業期間中の 活動目標	・現計画の目標達成 ・現状把握 ・地域住民、企業ニー・地域資源の活用に	・ーズ(こよる	の把握 経済施策の検討		標	左記活動の 実施					
7G 340 CI 19#	・民間経営手法の ・各施策分野の出 ・委員会運営		よる各種施策の検診 3検討		績	左記活動の 実施					
				目	標						
				実	績						
	ҕ҅	日捶	(指標)	進捗状況							
	八 木	日保	(1日1宗)			R3年度					
	産業振興計画の策	定		目	標	産業振興計 画の策定					
事業期間中の	产术派共们 已 07米	. ~_		実	績	産業振興計 画の策定					
成果目標				目	標						
				実	績						
				目	標						
				実	績						

事業完了後の取り組み 達成/進捗状況 成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果■ 後年度に発現する事業効果 8年度 4年度 5年度 6年度 7年度 目標/発現年度 目 標 1568人 1568人 1568人 1568人 1568人 新規就職者の創出 実 績 1126人 業完了後 目 標 実 績 の 【令和4年度】 成 ・産業振興計画にて掲げた実施事業の取り組み状況について関係課へ確認を行った。 果日 ・新規就職者の創出は目標値を下回る実績となった。コロナ渦における外出をえ(窓口を利用しない)やネットサービスの普及により、携帯電話や自宅PC等での求職が容易になったことも目標値を下回る(利用者増にならなかった)要因と推察される。 標 状 【年度】 況 説 明 【年度】 【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等) 【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等) 【令和4年度】 外部の有識者を交えた、産業振興施策フォローアップ委員会を開催し、各 【令和4年度】 市民や企業ニーズ、市内の現状などを踏まえた計画を策定したことで、より 実態に即した施策の展開が可能となった。 種施策の意見交換を行った。 【年度】 【年度】

【4年度】

各種施策や紐づく事業については、必要に応じて計画内容のブラッシュアップ及びスクラップ&ビルドを行い、効果的かつ効率的な計画の遂行を目指 す。

【年度】

【年度】

市町村名 うるま市

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	サイクルツーリズム推進事業							せ紀ビジョン 画該当箇所	4 - 3 - (スポーツ関連産 地域の活	業の振興と
担当部課名	経済産業部	観光振興課	3	事業実施 年度	令和 2	~ ^{令和} 年 6		基本方針	Ⅲ - 1	- (1)
事業内容	サイクリング	を目的とした観光誘	客を図る	ため、受力	入環境の塾	を備及びメディ	ア等を活用し	たプロモーショ	ョンを実施する	o
実施方法	□ 直接実施	■委託	□ 補助		〕負担	□ そ	の他()			
		R2年原		R3	年度	R44	丰度			슴計
	A. 予算現額		10,000		10,00	00	10,000			30,000
事業期間中	B. 執行済額		9,922		9,9	34	9,825			29,731
の予算額 ・執行額	うち 交付金充当額	頂	7,937		7,9	37	7,860			23,784
【単位:千円】	執行率(%)(B/	A)	99.2%		99.8	3%	98.3%			99.1%
	執行状況の説明	月 予算現額と幇	1行済額(の差は確況	定残による	ものである。	·			
				達成状況						
	/白男	加目標(指標)				R2年度	R3年度	R4年度		
	誘客ターゲットの設定			目	標	誘客ターゲッ トの設定				
				実		誘客ターゲット の設定完了				
	モデルルートの作成			目	標	モデルルート の作成				
				実	績	モデルルートの 作成完了				
	・受入環境の整備(ベンチ、自転車ラック、案 内標識の設置等)			目	標		受入環境の 整備			
活動目標				実	績		受入環境の 整備の完了			
	・サイクリングマップ	プの作成		田	標		サイクリング マップの作成			
	, , , , , , , , , , , , , , ,	- 07 F 100		実	績		サイクリングマップ の作成の完了			
	モデルルート上環	境の整備(ベンチ、ほ	自転車	目	標			受入環境の 整備		
	ラック、案内標識 <i>の</i>)設直寺)		実	績			受入環境の 整備の完了		
		ンた国内外向けプロ·	モーショ	目	標			プロモーショ ンの実施		
	ンの実施			実	績			プロモーショ ンの完了		

	代田口捶(牝捶)			進打	步状況		
	成果目標(指標)		R2年度	R3年度	R4年度	〇年度	〇年度
		目標	調査報告書 の作成				
	調査報告書の作成	実 績	調査報告書 の作成完了				
	・受入環境の整備完了(ベンチ、自転車ラック、案内標識の設置等) 【参考指標】 ・整備事業者数 モデルルート上の環境整備の完了	目標		受入環境の 整備完了			
事業期間中の		実 績		受入環境の 整備完了			
成果目標		目標		20者			
		実 績		20者			
		目標		受入環境の 整備			
		実 績		環境整備の 完了			
	メディア等を活用した観光誘客プロモーション	目標		観光誘客プロ モーションの完 了			
	の完了	実 績		観光誘客プロ モーションの完 了			

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果		4年度	〇年度	〇年度	〇年度	〇年度 目標/発現年度	
事業完	サイクリングルート上の商業施設(勝連城跡休憩所)の	目標	16,960千円 以上					
了後	売上高	実績	9,605千円					
の成果	R4年度の環境整備事業者へのサイクリストの来訪者数	目標	300人以上					
果日	八十十次の原境を開事末行へのサインリストの末部有数	実 績	330人					
1 100								

状

況 説

【4年度】
・勝連城跡休憩所の売り上げについては、コロナ禍の影響があり、下回る結果となった。
・サイクリストの来訪者数については、民間主導のイベントの実施や、当事業のPR等により、目標人数を上回る結果となった。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【4年度】 ・コロナ禍による影響で、県外および国外のサイクリストの来訪が見込めない ものがあり、アフターコロナに向けた取り組みが必要となっている。	【4年度】 ・アフターコロナを見据え、より効果的な発信を行い、より本事業の取組みをPRすることで、域外からのサイクリストを呼び込む必要がある。
【 年度】	【 年度】

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

・本事業においては、サイクリストへ安心安全なサイクリングの環境を提供するため、市内の各観光関連事業者に対し、サイクリストが求めること等を共有し、受入環境の体制を整えることが必須になる。また、本市の取組みを周知し、域内消費の向上に務める必要がある。

【年度】

市町村名 うるま市

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	EV自動車普及促進事業 沖縄21世紀ビジ 基本計画該当箇									
担当部課名	経済産業部産業政策課			平成 25	。 ^{令和} _年 2		長興基本方針 亥当箇所	Ⅲ-1-(4)		
事業内容		責等により市内の産業 を行う事で、市産EV車				各地域で	のうるま市産EVI	車の普及促進	につなげるプ	
実施方法	□ 直接実施 ■	委託 □ 補助	"	〕負担	□ 7	の他()				
		~H29年度	НЗ	0年度	Rπ	;年度	R2年度		合計	
	A. 予算現額	114,24	5	10,00	0	30,092		15,000	169,337	
事業期間中 の予算額	B. 執行済額	103,29	2	9,99	9	29,993		14,998	158,282	
·執行額 【単位:千円】	うち 交付金充当額	82,63	2	7,99	9	23,994		11,998	126,623	
	執行率(%)(B/A)	90.4	%	100.0	%	99.7%		100.0%	93.5%	
	執行状況の説明	当初の計画どおり事	業を適正に	執行する	ことができた	0				
	注動 日極	5 / 					達成状況			
	活動目標(指標)				H28年度	H29年原	图 H30年度	R元年度	R2年度	
	地域におけるEV普及の		標	組合との連携						
				績	組合との連携					
事業期間中の 活動目標	地域での販売を見据える の検証	たEV製造経費提言		標績	検証の実施 検証の実施					
	販売を見据えたEV製造	目	標		検証及び研究 発の実施	克開				
	び研究開発、モーター開 等	月発、制御基盤開発	実	績		検証及び研究		1		
	にはまの道る中では	目	標			導入実証 実験の実施	導入実証 実験の実施	導入実証 実験の実施		
	EV車の導入実証実験の	実	績			導入実証実験 の実施完了	導入実証実験 の実施完了	導入実証実験 の実施完了		
	成果目標	6 / +ヒ+m \	進捗状況							
	八木 口 情	₹(1日1 汞)			H28年度	H29年月	E H30年度	元年度	2年度	
	EV普及のためのモニタ (観光・企業・農家等)		目	標	観光120回 企業8社 農家1回					
	観光利用者120回 企 1回	業利用8社 農家	実	績	観光133回 企業15社 農家0回					
事業期間中の 成果目標	 製造経費低減に資する ※ 1パーツ及び既存す			標	調査研究					
	発 1パーツ及び既存車 	- 4 V 以 尺		績	調査研究					
	EVに興味・関心を持った	た人の割合		標		60%以上				
			美	績		79.7%				
	EV自動車実証実験の完	己		標			EV自動車実証 実験の完了	実験の完了	EV自動車実証 実験の完了	
			実	績			EV自動車実証 実験の完了	E EV自動車実証 実験の完了	EV自動車実証 実験の完了	

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標)		_	達成/進扬	步状況		
	□ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果		3年度	4年度	〇年度	〇年度	〇年度 目標/発現年度
	うるま市産EVの普及促進プロモーション活動	目標	4台	4台			
*	(EV自動車実証実験実施台数)	実 績	4台	5台			
事業完	業 売 実証を行った事業者におけるEV車契約率	目標		80%以上			
了後の	天証で1] ツに尹未有にのけるEV早尖利学	実 績		50%			

・あまわりパーク利用者向け実証実験、津堅島公共交通における実証実験の実施。

・南城市久高島で2台納入報告。

状況説明

成果目標

【4年度】

・あまわりパーク利用者向け実証実験、津堅島公共交通における実証実験、宇都宮市へ車両貸与によるプロモーションを実施。 ・宮古島シギラリゾートにて50台の納入報告。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
い。また、津堅島における公共交通機能としての実証実験を行い、可能性を	【3年度】 ・コロナ終息からの観光客増加を見据え、観光施設等で積極的に活用しながら認知度向上を図る。
【4年度】 ・あまわりパークにて通年使用。観光客も増加し、利用者も1万人を超えかなりのPR効果が得られている。宇都宮市への貸出も行い、次年度には本市産EV自動車を購入する意向を得た。	
【 年度】	【 年度】

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

・市内観光施設等で積極的に活用し、EV自動車の普及促進に向けたPR活動を行う。 ・市内公共交通におけるEV自動車の活用についても、担当課と連携しながら更なる普及を図る。

【年度】

【年度】